

# 視察報告書

令和5年10月24日（火）から25日（水）まで、自主研究グループとして行政視察に神奈川県藤沢市に出張（視察）しましたので、下記のとおり報告いたします。

## 記

令和5年11月8日

美祢市議会

議長 竹岡昌治 様

自主研究グループ

代表 杉山 武志  
山中 佳子  
秋枝 秀稔  
猶野 智和  
田原 義寛  
山下 安憲

## 1 出張（視察）の目的

次にあげる課題解決に係る問題点探究に資するため。

### 教育

#### 課題

少子化による小学校の複式化に於ける学力の低下を危惧する市民も少なからずおられ、教育の在り方・美祢市独自の教育が求められている。

また、日本教育の「教え学び身に着ける」形から「自分が取得したい物を取得していく」形に変わろうとしている。

#### 問題点

課題を解決するにあたり、現行教育カリキュラムの中に美祢市独自の教育を組み入れられれば良いが、現時点においては困難と思われる。

本市に於いては、先進的な教育理念を持つ慶応義塾大学藤沢キャンパスの長谷部教授との連携による公設塾「mineto」を開設しており、この場にカリキュラムを導入出来ないか検討する必要がある。

また、新たな手法として長谷部研究室は全国に数カ所分室的な施設を設け国際的な教育を進められており、美祢市への設置を検討されていることから現状把握と展開の可否を調査すべきと考える。

## 災害対策

### 課題

本市は平成21年に豪雨災害が発生し、厚保地区に於いて家屋の水没等甚大な被災を経験しており、本年6月末の豪雨による被災は1名の行方不明者を始め市道・橋梁・市管理河川護岸121件総額24億200万円に上っている。

また、河川氾濫によりJR美祢線も崩壊し、被害総額は60億円とされている。

これにより河川の改善・水流を抑止する政策が求められている。

### 問題点

平成22年本市下流の厚狭地区において満潮と重なり河川が氾濫した。

厚狭川全域の護岸拡幅若しくは川底を深くすべきと考えるが、山口県の管理でありまた岩盤・民家の隣接等困難を極める。

この様な事象発生に備え「遊水地」を設ける市町が有り、手法としては低い位置に公園やスポーツグラウンドを設け災害時に活用するもの又は隣接する水田を補償し活用するものと有るが、提言するにあたり調査検証をする必要が有る。

また、視察内容の詳細及び各々の所感は別添とする。

## 視察内容

別紙

視察先及び対応者	視察目的	視察内容
慶応義塾大学 藤沢キャンパス  環境情報学部 長谷部葉子准教授	1 学生の研究活動視察依頼 2 長谷部研究会秋芳分室構想の可否及び美祢市賑わい創生・定住促進の可能性検証	民家定住による農業・加工生産業への従事及び地域を巻き込んだイベント等開催状況並びに学生間の情報共有施策の現状確認
神奈川県立 境川遊水地公園  副園長 伊藤 航	豪雨災害に係る水害対策 1 施設概要 2 運用方法	1 遊水地公園設置に係る経緯 2 施設各機能の検証 水害対策機能 ビオトープ研究機能 運動施設活用機能 3 施設管理運用方法

## 所感

### 1 慶応義塾大学藤沢キャンパス（SFC）長谷部研究会秋芳分室構想の可否及び美祢市賑わい創生・定住促進の可能性について

まずは、慶応義塾大学環境情報学部長谷部葉子准教授と同学部学生3人が共同生活をしている合宿所を視察した。藤沢市内にある地元支援者の民家住宅の離れを合宿所としており、共同生活を通して農業を始めとした体験学習の場を運営していた。

同様の施設を美祢市秋芳地域内で確保することができないかという話が出ているようで、現在はその実現の可能性を調査中とのことだった。

次に、慶応義塾大学藤沢キャンパス（SFC）を視察した。先進的で美しいキャンパスは圧倒的で羨ましい限りであった。大手のコンビニやファーストフード店があるばかりではなく、学生が静かに勉学を行えるカフェと図書館が融合したようなスペースが多く用意されていた。また、キャンパス内には合宿施設も用意されており、ひと昔前ならば、遠くのキャンプ場で行うようなことをキャンパス内で行うことができる。当日はその中の一つの合宿棟を見学し、長谷部研究会の学生たちが協力し夕食を作っているところを見学した。

同キャンパスはいろいろな意味で壁がないという印象を受けた。講師と学生、上級生と下級生、男女等々、近年流行りのグローバルでボーダレスな教育を実践している。学生の個性を育て、卒業生は多種多様な方面へと進んでいる。何人かの学生と話をすることができたが、起業家、外資系外部監査会社、農業、保育士、脚本家等と彼らが進もうとしている分野の幅の広さには驚いた。

そこで、学生達に「逆に、どういう学生がSFCに馴染むことができないと思う？」と質問してみたところ、「自主的に学ぶことができずに指示待ちをしてしまう学生は難しいかも」との答えがあった。

慶應義塾大学は日本人ならば誰でも知っている有名大学である。SFCの学生たちも小さいころから勉学に励み受験戦争に勝ち抜いたか、一芸に秀でたA0入試を突破した天才肌の子たちである。彼らは幼少期から深い知識と共に自ら率先して勉強をすることを習慣として身に付けており、ある種の型を持ってから入学している。そのことを下地とした上で、SFCの自由な育成方針と出会い、型破りな人材となることができるようだ。

SFC的教育を美祢市に導入しようとした場合、特にまだ型ができていない子供たちがどのような反応を示すのか、また、先進的な教育が保守的な田舎にどのくらい受け入れられるのか注目したい。

### 2 神奈川県立 境川遊水地公園に於ける豪雨災害に係る水害対策について

非常に規模の大きな遊水地施設であった。建設に当たり、農地の水没だけではなく、住宅等の民間施設の移転も行われている。本市の厚狭川流域に導入を考えた場合、土木工事費のみならず、移転の問題が発生する可能性も考えなければならないと知った。またそもそも、厚狭川流域に治水に効果がある規模の遊水地を造るに適した場所があるのか等々、慎重な調査検討が必要であると考えた。